

# 事業概要【ちば起業家育成事業】

旧制度（推進）

申請者	千葉県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	54,000千円 (18,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内様々な地域で、若年層を対象としたその地域の特性を踏まえた独自の体験型プログラムを実施し、参加者のアントレプレナーシップ獲得を支援。これらの取組を通じて、参加者の将来の職業選択の幅を広げるとともに、県全体の若年層の起業機運を高める。</li> <li>各プログラムは、県内企業・地域や教育機関と連携して取り組む。また、一部プログラムでは、参加者を対象に支援講座を実施し、デジタル技術を活かしたビジネスプラン作成などを強力に推進。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 若年層のアントレプレナーシップ（起業家精神）向上を支援し、将来の職業選択の幅を広げるとともに、本取組を広く周知・啓発し、若い世代に起業を身近に感じてもらうことで、更なる起業機運の醸成につなげる。</p> <p>【主な経費】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①小中学生向け起業体験会の開催(委託費) 9,200千円 将来の千葉県を担う意欲的な小中学生を対象として、県内企業を相手方としたBtoB型の起業体験プログラムを2カ所で開催。</li> <li>②高校生・大学生等向けビジネスプラン作成ワークショップの開催(委託費) 6,000千円 起業に興味がある高校生・大学生等を対象としたビジネスプランを立案するワークショップを開催。</li> <li>③高校生等向け起業家講演会の開催(委託費) 1,000千円 若い世代に起業をより身近に感じてもらうため、起業家による講演イベントを開催。開催の様子は別途、オンライン限定配信を行う。</li> </ol>		
KPI	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域へのUIターン数 (+3名)</li> <li>② 小中学生向け起業体験会申込者数 (+80名)</li> <li>③ 高校・大学生向けワークショップ修了者数 (+25名)</li> </ol>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.pref.chiba.lg.jp/keishi/sougyou/kigyuu-ikusei.html">https://www.pref.chiba.lg.jp/keishi/sougyou/kigyuu-ikusei.html</a></p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値


# 事業概要【地域公共交通「リ・デザイン」推進事業】

申請者	千葉県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	300,000千円 (100,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情に応じた路線の再編や交通モードの転換に取り組む市町村や交通事業者等に対する支援を行い、利便性・生産性・持続可能性の高い公共交通への再構築（リ・デザイン）を推進する。</li> <li>・リ・デザインにより、交通ネットワークの維持・確保・充実を図ることで、県民が暮らしやすい地域づくりを実現する。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 地域公共交通の維持・確保に向けて、より利便性・生産性・持続可能性の高い公共交通への再構築（リ・デザイン）を推進するため、地域の実情に応じた路線の再編や交通モードの転換などに取り組む市町村や公共交通事業者等に対し、支援を行う。</p> <p>【ソフト事業経費】 ①再構築に向けた検討支援・相談 30,000千円（委託料） 市町村等の課題解決に向けて、事業企画等に対する相談支援を行う。 ②市町村・交通事業者等への補助 70,000千円（補助金） 地域公共交通の再構築や交通空白の解消に向けた取組に要する調査・実証事業等の費用に対し、補助する。</p> <p>《対象事業》 (1)地域公共交通の再編・交通モードの転換に向けた取組 例)スクールバスへの混乗、車両のダウンサイジングによる効率化 (2)交通DXを活用した取組 例)自動運転、バス情報オープンデータ化</p>					<p>県民が暮らしやすい地域づくり</p> <p>▲</p> <p>持続可能な公共交通の実現</p> <p>▲</p> <p>調査・実証事業等の実施 — 「②市町村・交通事業者等への補助」により事業を促進</p> <p>▲</p> <p>原因分析・解決策の検討 — 「①検討支援・相談」により事業化に向け支援</p> <p>▲</p> <p>地域の交通課題</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>学識経験者や経済団体、銀行、関係行政機関など、多様な主体が参画する会議を開催し、本事業の進め方や支援方針等に対する助言をいただき、事業内容に反映する。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①住み続けたいと思う県民の割合(+1.4%)</li> <li>②リ・デザインが実現した公共交通の数(+17件)</li> <li>③リ・デザインに向けて調査や実証事業に取り組む公共交通の数(+21件)</li> <li>④リ・デザインに向けて問題意識の共有や解決に向けた検討を進めた公共交通の数(+15件)</li> </ul>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値


# 事業概要【漁業の担い手確保・育成総合対策事業】

申請者	千葉県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	44,178千円 (11,808千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国的に少子高齢化・人口減少が本格化する中で、漁業における従事者数の減少や高齢化は、より一層顕著であることから、地域の漁業現場においては、経営基盤や技術が継承されず、厳しい状況に直面している。</li> <li>そのため、若年層に漁業への就業に興味・関心を持てるよう、漁業の魅力発信に取り組むとともに、漁家子弟をはじめとした就業希望者への技術的・経済的な支援を行うことで、新規漁業就業者の確保・定着を目指す。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p><b>【事業概要】</b> 全国の漁業就業希望者に千葉県漁業の魅力を伝えるため、漁業種類ごとにPR動画を作成し、県HPや動画配信サイトで公開・配信するとともに、SNS等を活用した情報の発信を図る。また、漁業就業希望者に対し、最長2年間の研修を実施する。</p> <p><b>【ソフト事業経費】</b> まき網、定置網、立縄など、15種類の漁業の紹介動画を作成する。また、最長2年間の研修に要する経費を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業の紹介・就業PR動画の作成（委託料）2,400千円</li> <li>・新規就業者定着・技術向上支援事業 9,408千円（内訳） 報償費 8,748千円（研修講師） 消耗品費（研修生が使用するライフジャケット等の装備品）360千円 役務費（講師の賠償責任保険）300千円</li> </ul>					<p>漁業研修の様子</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>千葉県における漁業就業者確保・育成対策の方針や事業の評価を行う千葉県海洋人材確保・育成協議会（構成員：千葉県漁業協同組合連合会及び公益財団法人千葉県水産振興公社理事長）や県内各地域で漁業就業者の確保・育成対策に取り組む地域協議会（構成員：各市町村及び漁業協同組合）からの意見を事業内容に反映する。</p>					<p><b>KPI</b> (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>★①新規就業者数（+14人） ②県が実施する漁業体験の延べ参加者数（+38人）</p>

# 事業概要【印旛沼流域の自然再生や水辺拠点を中心とした地域活性化の推進】

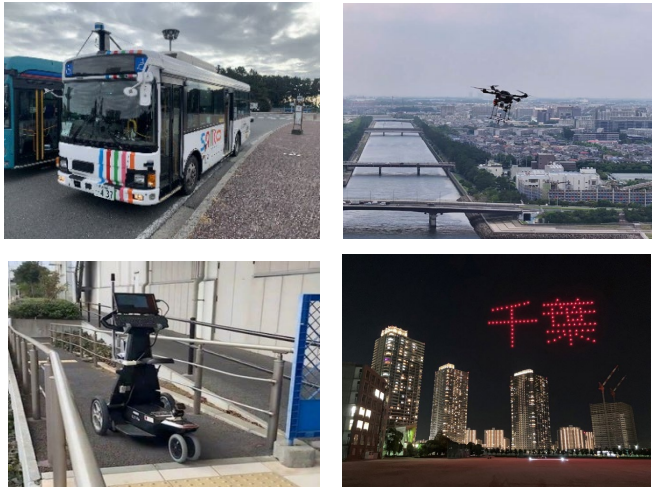
申請者	千葉県				初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	109,000千円 (5,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	インフラ整備事業	事業分野	生活環境の創生
目的・効果	<p>印旛沼周辺地域は、都心から40km圏内にありながら豊かな自然に恵まれ、歴史的遺産も数多く残されており、かつては沼を中心とした生活文化が形成されていた。しかし、近年の市街化等により沼の貴重な自然環境や水と人との係わりが失われ、周辺環境の持つ様々な資産を地域の賑わいや観光に活かしてきていない現状である。</p> <p>一方、年間約30万人が訪れる観光拠点である佐倉ふるさと広場ではR8年度から規模を1.4haから10.2haに拡張する工事や水に親しめるような水辺拠点の整備が予定されており、観光客数や観光消費増加の契機となっている。そこで、市民団体、企業、地元市など多様な主体と連携し、水辺拠点整備等と一体となって相乗効果を発揮する賑わいの創出や、自然再生などの取組を推進し、更に観光客などが集まることで、地域の活性化を図っていく。</p>					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 印旛沼流域において、水辺拠点整備を中心にイベント開催、環境学習等による水辺の利活用の推進を図るとともに、グリーンインフラの取組推進のための勉強会等を実施する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>○利活用等推進費 5,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民団体や企業等と連携し、水草の再生などの試験的なイベントや、環境学習等を開催、支援し、更に水辺の魅力向上に係る情報を発信する。</li> <li>市民団体向けにグリーンインフラの認識向上や取組の情報共有を図るため、勉強会や先進事例箇所等の現地見学会を行う。</li> </ul> <p>○情報発信等施設整備 0千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R9年度に自然再生の取組の説明を行う案内看板を設置</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>市民団体、企業、地元市、学識者と協働で水草の保全再生に係るイベントの開催、環境学習の実施やそれらの支援等を行うとともに、グリーンインフラに係る勉強会や効果の見える化等を行っていく。</p> <p>また、国、県、流域市町、市民団体、学識者、沼利用者等で構成される「印旛沼流域水循環健全化会議」を活用し、効果検証等を行いながら、取組を推進していく。</p>				KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>★①印旛沼周辺地域の観光消費額 (+6,600万円)</p> <p>②観光拠点の来場者数 (+1万人)</p> <p>③水辺を活用したイベントの実施数 (+5回)</p> <p>④地域で活動実績のある市民団体や企業数 (+5団体)</p>

# 事業概要【千葉の自然を活用した観光地域づくり促進事業】

申請者	千葉県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,575,000千円 (250,000千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	✓	事業分野 地方経済の創生
目的・効果	<p>養老溪谷温泉郷において、市町や観光関係団体、民間事業者など、多様な主体と連携しながら、地域のブランディングや観光コンテンツの開発、観光客の利便性向上に向けた取組や交通量の増加に対応した道路拡幅、大雨災害等に対する道路法面の崩落対策による安全で快適な観光などを推進することで、観光入込客数の増加、滞在時間の長期化や宿泊の増大を図り、域内消費額の増大による地域経済の活性化を目指す。</p> <p>さらに、こうした取組により観光地としての付加価値や魅力を高めることで、域外資本の誘致や新規事業者の参入を促す環境を創出し、更なる観光地の活性化や新規雇用創出を図っていく。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 養老溪谷温泉郷において、市町や地域の事業者などを構成員とする協議会を設立し、その協議会の中で合意が図られた取組について実施していく。具体的には、ナイトタイムエコノミーなど観光コンテンツの造成を通じた地域経済の活性化、交通利便性の向上などの取組を実施することを想定している。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の合意形成や事業検討・効果検証（委託料）40,000千円 ↳地域の合意形成に向けた協議会を設置・運営する。</li> <li>新たなコンテンツの造成に向けた実証（委託料）165,000千円 ↳ナイトタイムコンテンツをはじめとしたコンテンツの造成</li> <li>交通利便性の向上に向けた調査・実証（委託料）45,000千円 ↳周辺地域からのアクセス性や域内での回遊性の向上に向けた調査実証</li> </ul> <p>【インフラ事業経費】（令和8年度以降に実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>養老溪谷駅前の道路拡幅工事 0千円</li> <li>圏央道ICから養老溪谷までの道路法面对策工事 0千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>地域事業者や地域住民と共同で地域活性化に向けたプラン作りを実施すると共に、DMOと連携してコンテンツ開発、周遊モビリティの運用を実施する。</p> <p>大学と連携し、地質学的な調査等を行い、同温泉郷の成り立ちや温泉の特徴を浮き彫りにし、エリアブランディングを図っていく。</p> <p>また、上記の調査結果も活用しながら、金融機関と連携し、民間事業者が行うグルメや特産品の開発や販路開拓等の支援を実施。</p>					<p>KPI</p> <p>(★は必須KPI)</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>★①域内観光入込客数（養老溪谷温泉郷エリア内の観光入込客数）（+63,011人）</p> <p>②ナイトイベント売上高（+106,200千円）</p> <p>③新規ツアー造成数（+4件）</p>

# 事業概要【幕張新都心を中心とした先端技術実装による都市型未来都市の実現】

旧制度（推進）

申請者	千葉県千葉市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	422,950千円 (90,147千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>・ドローンや自動運転モビリティ等の先端技術産業の集積により、域内資源との創発を引き出し、幕張新都心の活性化に寄与する。</p> <p>・先端技術の導入・社会実装に向け、住民の理解等、社会受容性を拡大する。</p> <p>・自動運転モビリティ等により、域内の回遊性向上を図り、まちの賑わい創出に寄与する。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】 多様な主体が参画した官民協働による社会課題解決型の新しいサービスを確立する事業を実施する。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ドローンの長距離物流の社会実装に向けた実証             <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会課題対策事業 7,000千円</li> <li>・社会受容性拡大支援等 4,347千円</li> </ul> </li> <li>○自動運転車の社会実装に向けた実証             <ul style="list-style-type: none"> <li>・公道レベル4技術実証 28,800千円</li> <li>・交差点等インフラ整備 10,000千円</li> </ul> </li> <li>○未来技術モビリティのサービス実装に向けた支援             <ul style="list-style-type: none"> <li>・最先端モビリティサービス導入支援等 20,000千円</li> <li>・コンソーシアム運営推進計画策定 20,000千円</li> </ul> </li> </ul>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新たに社会実装した先端技術を活用したサービス利用者数 (+94,192人)</li> <li>②社会受容性の拡大に資する事業への参加者数 (+2,520人)</li> <li>③新たに社会実装した先端技術を活用したサービス数 (+6件)</li> <li>④幕張新都心の日々活動人口 (+15,000人)</li> </ul>	関連URL	<a href="https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/sogoseisaku/kikaku/06chiho/usoiseibukai.html">https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/sogoseisaku/kikaku/06chiho/usoiseibukai.html</a>

# 事業概要【千葉開府900年を契機とした地域への誇りと愛着の醸成と若者チャレンジ推進事業】

申請者	千葉県千葉市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	148,046千円 (43,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野

**目的・効果**

- 千葉開府900年記念の取組みを通じて、「子どもや若者が郷土への誇りと愛着を感じている街」、「未来のまちづくりを担う人材や企業が育成・輩出される街」、「多様な主体による新たな交流・連携による好循環が生まれる街」の実現を目指す。
- 全ての対象事業について子どもや若者を主な対象として実施することにより、若者を中心とした多様な市民や企業等による新たな交流・連携の好循環が生まれ、本市の社会・経済・文化を支える新たな価値を創出できる人材や企業が育成・輩出される街（＝若者に選ばれる街）の実現を目指す。

**事業概要・主な経費**

※経費内訳はR7年度事業費

**【事業概要】**

- 郷土への誇りと愛着の醸成へ向けて、幅広い世代や属性の市民（特に子どもや若者）が街の歴史を知る機会を増やす。
- 若い世代が街の未来を考え行動することを促すとともに、若い世代を中心とした地域の様々なつながりを再構築するため、市内にも知識やスキルを得ながら活躍できる選択肢は多くあることを知る機会や、多様な属性の人たちとの地域活動を通じて様々な経験を積むことができる機会をつくる。

**【ソフト事業経費】**

- 郷土教育のためのデジタルコンテンツ制作（委託料）22,600千円
- 街の発展がわかる動画制作（委託料）10,000千円
- クラウドファンディング活用支援事業（委託料）1,500千円
- アントレプレナーシップ教育高校生海外派遣プログラム（負担金）5,400千円
- 起業家海外展開実践研修プログラム（委託料）4,000千円



**地域の多様な主体の参画**

対象事業の企画・実施にあたっては、千葉開府900年記念協議会、ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム、千葉市スタートアップエコシステムを構成する様々な分野の団体が参画している。

産業界は事業の企画・実施、周知を実施し、教育機関はこれらに加え教育プログラムの監修を行う。また、町内自治会連絡協議会と連携することで、住民目線での意見を伺い、事業を実施する。

**KPI**

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値


- ①22～29歳の転出者数の減少数（▲600人）
- ②千葉開府900年記念が、街の歴史を振り返る機会になったと思う市民の割合（+70%）
- ③市に愛着を感じている市民の割合（+70%）
- ④千葉開府900年記念メンバーシップ登録者数（+220者）
- ⑤地域活動を行っている市民の割合（+9%）
- ⑥千葉開府900年が、まちの未来を考える機会になったと思う市民の割合（+70%）

# 事業概要【デジタル地域通貨推進事業】

旧制度（推進）

申請者	千葉県市川市	初回採択回	令和6年度第1回募集									
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	309,643千円 (101,912千円)									
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野									
目的・効果	<p>持続可能な未来につながるまちづくりを目指して、デジタル地域通貨事業の推進を行う。</p> <p>(1) デジタル地域通貨の仕組みを活用した市内経済循環の実現による地域経済活性化</p> <p>(2) ボランティアや自治会活動等にインセンティブとして行政ポイントを付与することによる市民活動の活性化</p> <p>(3) 健康ポイントを通じた健康寿命の延伸</p>											
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】 地域経済の活性化と市民活動の活性化を目的として、デジタル地域通貨ICHICOの利用拡大を図るもの。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル地域通貨を発行・管理するためのシステム及びアプリケーションの運用・保守を行うもの             <table border="0"> <tr> <td>システム使用料（使用料）</td> <td>18,832千円</td> </tr> <tr> <td>チャージ環境提供手数料（手数料）</td> <td>43,439千円</td> </tr> </table> </li> <li>○加盟店の獲得やコールセンターの運営等事務局の運営を行うもの             <table border="0"> <tr> <td>事務局経費（委託料）</td> <td>27,431千円</td> </tr> </table> </li> <li>○健康ポイントを発行・管理するためシステム及び利用者アプリケーションの運用・保守を行うもの             <table border="0"> <tr> <td>システム使用料（使用料）</td> <td>12,210千円</td> </tr> </table> </li> </ul>		システム使用料（使用料）	18,832千円	チャージ環境提供手数料（手数料）	43,439千円	事務局経費（委託料）	27,431千円	システム使用料（使用料）	12,210千円	<p>＜デジタル地域通貨による地域活性化＞</p> <p>市川市 → 通貨発行 → 利用者 → 決済 → 加盟店</p> <p>市川市 → ポイント発行 → 利用者 → 健康づくり・ボランティア等</p>	
システム使用料（使用料）	18,832千円											
チャージ環境提供手数料（手数料）	43,439千円											
事務局経費（委託料）	27,431千円											
システム使用料（使用料）	12,210千円											
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の人口 (+1,300人)</li> <li>②加盟店舗数 (+440店舗)</li> <li>③行政ポイント付与ポイント数 (+11,169,100ポイント)</li> <li>④健康ポイント新規参加者数 (+4,000人)</li> </ul> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.city.ichikawa.lg.jp/pla02/0000421690.html">https://www.city.ichikawa.lg.jp/pla02/0000421690.html</a></p>									

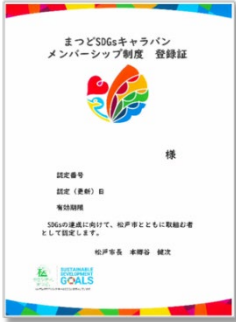


# 事業概要【大規模スポーツイベントを契機としたトップスポーツチーム連携による交流・関係人口創出事業】

申請者	千葉県船橋市				初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	79,000千円 (15,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	船橋市内で実施する初の全国規模のスポーツイベントとなる、B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2025を契機とし、多様なステークホルダーに、本市をホームタウン等として活動するトップスポーツチームを地域資源と捉えてもらうとともに、そのイベントの効果を一過性とさせないよう、各ステークホルダーが継続的に連携を推進する体制を整え、ブランディングやシティプロモーション等の取り組みを実施することで、新しい交流・関係人口を創出し、地域活性化・経済活性化を推進するとともに、チーム応援の機運醸成に繋げていく。					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>以下に掲げる事業を実施する委員会を設立し、船橋市、チーム、経済団体等様々なステークホルダーが連携する体制を整え、交流・関係人口増加に向けブランディング・シティプロモーション等の事業について、自立性をもって継続的に検討・実施する体制となるまでの期間、その費用を補助する。</p> <p>【主な経費】</p> <p>スポーツチーム連携推進事業への補助金 15,000千円</p> <p>- 以下、補助対象事業の想定 -</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○委員会の設立・運営</li> <li>○地域活性化イベント (パレード、報告会、パブリックビューイング、ファン感謝祭等)</li> <li>○チームPR・シティプロモーション (屋外装飾、プロモーション動画作成、コラボレーション商品制作販売等)</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>委員会が実施する事業について、商工会議所と共同で、地域経済を活性化させる観点での事業検討を行うとともに、千葉県内自治体の意見聴取により事業内容への反映に取り組む。</p> <p>また、委員会総会の開催により住民意見を吸い上げる機会を増やすとともに、自治会等の協力を得て事業の情報発信を行う。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の人口・世帯数 (+4,850人)</li> <li>②市外から流入した滞在人口 (+4,500人)</li> <li>③船橋市プロスポーツ等連携推進委員会が実施する連携事業数 (+10事業)</li> </ul>
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

※経費内訳はR7年度事業費

# 事業概要【地方創生SDGs産学官民連携推進事業】

旧制度（推進）

申請者	千葉県松戸市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	46,218千円 (9,754千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsを原動力に産学官民の連携を促進するため、「まつどSDGsキャラバンメンバーシップ制度」（松戸市SDGs宣言登録制度）の登録者等を中心に多様な連携を促進する。</li> <li>・SDGsネイティブとも言われるZ世代を主体に、市内の地域課題解決に向けた取組みを推進する。</li> <li>・大学等との共同研究及びその成果を活用し、産学官民を軸とした多世代交流を推進する。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 SDGsの目標達成を原動力とした産学官民の連携を推進することで地域課題解決を目指す。</p> <p>【主な経費】 ○SDGs原動力にした産学官民連携促進 ・市独自のSDGs宣言登録制度に係るセミナー等の実施（委託料） 3,770千円 ・諸経費（郵送料・印刷製本費・消耗品等） 192千円 ・SDGs推進に係る会議運営（報償費等） 92千円 ・大学等による住民参加型イベントの支援（補助金） 800千円 ○Z世代のネットワーク構築 ・Z世代による「まつどSDGsキャラバン推進事業」（委託料） 1,500千円 ○産学官民連携による多世代交流の推進 ・市民の健康増進に向けた共同研究（委託費） 3,400千円</p>		   <p>まつどSDGsキャラバンメンバーシップ制度登録証</p> <p>Z世代による活動 (SDGsフォーラム)</p> <p>設置されたウォーキングプログラム (TOKIWALK) チェックポイント</p>
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>①SDGs産学官民連携に係る提案マッチング数 (+140回)</li> <li>②「まつどSDGsキャラバンメンバーシップ制度」に登録した事業者数 (+520者)</li> <li>③「まつどSDGsキャラバン」に参加するZ世代数 (+90人)</li> <li>④市内4大学の在学生における市内就職率 (+1.7%)</li> </ol>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/keikaku-kousou/sdgs/index.html">https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/keikaku-kousou/sdgs/index.html</a></p>

# 事業概要【（仮称）関宿スポーツフィールド整備事業】

申請者	千葉県野田市				初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	406,091千円 (405,091千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くのスポーツやイベントに利用できる多目的広場や遊歩道を整備しスポーツ環境の向上を図る。</li> <li>調整池を活用した釣大会の開催や隣接する地域福祉センターとの連携により子供から高齢者まで地域の交流を深め、にぎわいの創出に寄与する。</li> </ul>						
<b>事業概要・主な経費</b> <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 調整池及び建屋跡地の周りに遊歩道を設置し隣接する少年野球場の園路と接続することによって、ウォーキング、ランニング、散歩などで楽しめるようにし、調整池を釣り堀として活用することにより子ども釣大会や障がい者釣大会の開催を計画する。建屋跡地は、「多目的広場」として整備し、少年野球や少年サッカー、グラウンド・ゴルフ、ソフトボール等での利用のほか、イベント広場としても活用できるようにする。さらには隣接する地域福祉センターと連携したイベント等も開催し子供から高齢者までの交流を深め地域のにぎわい創出に寄与する。また、本施設は野田市のみどりを感じながら子供が自由に遊べるため、子育て世帯の市外からの流入や関係人口の創出に繋げることができる。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○野田スポーツ健康まちづくり推進協議会事業費補助 スポーツを通じたまちづくりの調査・研究、スポーツフェスタの開催・運営、地域のにぎわいづくりに関する企画・運営 ・事業費（補助金） 500千円</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○多目的広場等整備工事 ・施設整備工事（敷地造成、遊歩道整備、多目的広場整備、ソーラー照明・トイレ設置等） 400,400千円 ・監理委託業務 4,191千円</p>				   		
<b>地域の多様な主体の参画</b>	<p>指定管理者が定期的に行う事業報告において、報告書の内容を踏まえ事業の改善点を明確化し、事業内容への反映に取り組む。</p> <p>少年野球は2箇所で開催を進行することが可能となることから、少年野球連盟と協力して、近隣市のチームを呼び込んだ大きな大会を開催する。その他、野田市スポーツ協会と調整して、近隣市から人が集まるような大会を調整する。また、市民、市内商工団体及び市内スポーツ団体等で構成されるスポーツコミッションから、当該施設の効果的な活用、市民参加型のイベント企画について助言をもらい、費用対効果を考慮した上で事業内容に反映していく。</p>				<b>KPI</b> <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①人口の社会増数（+4,000人）</li> <li>②スポーツ施設の利用者数（+8,800人）</li> <li>③市内運動会及び各地区スポーツ行事の参加者数（+1,905人）</li> <li>④スポーツ教室参加者数（+365人）</li> <li>⑤（仮称）関宿スポーツフィールドで実施したイベントの来場者数（+3,826人）</li> <li>⑥のだ健康・スポーツアプリ登録者数（+4,650人）</li> </ol>	


# 事業概要【(仮称) 高校生レストラン整備事業】

申請者	千葉県野田市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	54,009千円 (52,009千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民とのつながりを重視した魅力発信拠点を整備するため、市役所庁舎内の閉店したレストラン施設を活用して、地元産の食材を使用した料理を提供する高校生レストランを新設する。</li> <li>・話題性やテレビの影響力を利用して新たな観光資源として発展させ、市民を含めた多くの方に野田市の魅力を感じていただく機会を提供し続けることで、地域経済の持続的発展と定住人口の増加に寄与する。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 市民とのつながりを重視した魅力発信拠点を整備するため、市民が日常的に利用する市役所庁舎に高校生が自ら栽培する地元産の食材を使用した料理を提供するレストランを新設し、新たな観光資源として発展させる。</p> <p>【拠点整備事業経費】 閉店して使用されていない厨房施設及び会議室として利用されているホール施設を高校生レストランとして使用できるよう必要な改修工事を実施するとともに、レストランの開店に必要な厨房機器を購入する。また、運営主体となる高等専修学校が準備する調理器具、食器類等の備品購入に係る経費を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厨房改修工事費（工事請負費）35,332千円</li> <li>・厨房機器購入（備品購入費）7,500千円</li> <li>・ホール改修等工事費（工事請負費）6,317千円</li> <li>・食器類等購入費（補助金）2,860千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>生産者に農業のノウハウをご指導いただき、生徒自らが育てた野菜をメニューに使用する。</p> <p>農協、商工会議所、商工会、地元企業等と共同し、地元ブランド農産物や名産品を使用したメニューやオリジナル商品を開発する。</p> <p>上記産業界に加え、教育機関等にレストランを活用したイベントを開催してもらい、市PR担当部局や報道機関が広報を積極的に行うことで利用者の増加等につなげるとともに、利用者目線での意見を吸い上げる。</p>					<p><b>KPI</b> (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★①人口の社会増（+600人）</li> <li>②拠点における年間入込客数（+2,000人）</li> <li>③認定農業者数（+2人）</li> <li>④観光イベントの入込客数（+2.1万人）</li> </ul>

# 事業概要【地域資源を活用したシティプロモーション推進事業】


申請者	千葉県旭市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	47,148千円 (8,800千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の郷土愛の創出とまちづくりへの積極的な参加を促す。</li> <li>・撮影支援の過程で発生する様々な経済効果や地元農水産物を利用した特産品等の開発と活用などの産業振興を図る。</li> <li>・ロケ地を訪れた人々が特産品等の食文化に触れ旭市にさらなる魅力を感じ、ファン度が高まることで関係人口の増加と地域の活力が向上する好循環を生み出す。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 地域資源を活用したロケ誘致を行いロケツーリズムへと発展させ、効果的かつ複合的なシティプロモーションを展開するため、人材育成とロケ誘致を推進する。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○ロケツーリズムによるシティプロモーションの推進人材育成 ロケ支援ができ、さらにその経験をもとにガイドができる人材を育成する。また、市民に対してロケツーリズムの取り組みをPRし、市民もロケ支援に協力する機運を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部専門家講演会開催費用 1,210千円</li> <li>・協議会会費 550千円</li> </ul> <p>○ロケ誘致の推進 旭市へのロケ誘致を推進するために業界誌への掲載やロケ地紹介WEBサイトの利用、また業界関係者を対象としたロケ地紹介ツアーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアを利用した情報発信及びメディア向けツアーの実施 7,040千円</li> </ul>					<p>【ロケツーリズムで目指すこと】</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>商工会、観光物産協会は、会員に対し当事業の取り組みを情報発信する。また飲食に関わる事業者は、市の農水産物を使用したロケ弁や特産品の開発・提供を通じてロケ誘致・観光誘客に取り組む。</p> <p>JA・漁協・道の駅は施設の貸し出し、市特産品のPR及び情報提供を行う。JRは所有施設の利用協力のほか、駅舎でのPRに協力する。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新たな協議会によるロケ誘致件数 (+60件)</li> <li>②特産品等の開発件数 (+10件)</li> <li>③観光入込客数 (+55,000人)</li> <li>④移住相談件数 (+130件)</li> </ul>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【事業者デジタル化支援事業】

申請者	千葉県旭市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	18,859千円 (6,103千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化への関心を高めるための啓発セミナーを開催し、希望する事業者を対象にデジタルシステム導入に関する企業診断セミナーを開催する。</li> <li>セミナー受講事業者のうち希望する事業者に、デジタル化導入に関する有識者による伴走支援を行い、スムーズかつ効率的なデジタル化を図る。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内事業者を対象にデジタル化に関する啓発セミナーを開催し、デジタル技術の導入を希望する事業者には専門家による伴走支援を行う。</li> </ul> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業者デジタル化支援事業（委託料）6,103千円</li> <li>(1)ヒアリング 市内事業者へのヒアリングを行い、デジタル化に関する現状を調査するとともに、本事業の周知を図る。</li> <li>(2)セミナー ①DXの内容や事例紹介等に関する啓発セミナーを実施。②啓発セミナーで興味を持った事業者を対象に企業診断セミナーを実施。</li> <li>(3)伴走支援 希望事業者を対象に、当該企業の抱える課題に沿ったデジタル化の提案、導入に関する支援を実施。</li> <li>(4)発表会 発表会開催により、本事業の取り組みを市内に周知し、DX波及を図る。</li> </ul>					 <p>セミナーによる 需要 掘り起こし</p> <p>企業の デジタル化を 伴走支援</p> <p>【効果】 ・企業の 業績アップ ・波及効果 により、 地域経済の 底上げ</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>商工会と連携し、支援対象事業者の掘り起こしを行うとともに、ヒアリング等で得られた情報・成果を共有し、商工会施策に反映させる。</p> <p>また、市内高等学校、金融機関、ハローワークなどとも連携し、雇用のマッチング、経営・資金相談、人材のあっせん・確保等、地域のリソースを包括的に活用し、事業効果を最大限に高める。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における新規雇用者数（+15人）</li> <li>②デジタル導入企業数（+15社）</li> <li>③デジタル人材スキルアップセミナー参加者における就労者数（+12人）</li> <li>④地域幸福度（Well-being）指数 主観データ（雇用・取得）（+3%）</li> <li>⑤地域幸福度（Well-being）指数 主観データ（事業創造）（+3%）</li> </ul>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【手賀沼エリアの水辺観光拠点化推進事業】

旧制度（推進）

申請者	千葉県柏市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	59,000千円（24,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・コロナ禍を経て、生活や価値観も多様化し、自然環境で過ごす時間や暮らしの需要が高くなっている。</p> <p>・手賀沼周辺地域は東京都心からも近距離であり、現在の暮らしの延長上で、都市の利便性を享受しつつも、手賀沼を中心とした水辺・自然環境の魅力や様々なコンテンツなどを体感・体験してもらうことで、暮らしのなかにある観光地、田園地域としてのモデルの確立を目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 各種コンテンツの自走化に向けた検証を行うとともに、持続可能な地域活性化に向けた各種拠点機能の統合を図る。</p> <p>また、水辺空間の活用や整備の方向性等について、関係する事業者等のステークホルダーと検討し手賀沼のエリアデザインとしてまとめ、手賀沼エリアの玄関としての機能強化に向けたイベント等を実施する。</p> <p>【主な経費】 手賀沼周辺地域活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベント等の自走化に向けた検討委託費：10,000千円</li> </ul> <p>TEGA GATE化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺空間のエリアデザイン等策定委託費：10,000千円</li> <li>・地域産品を活用したイベントに関する委託費：4,000千円</li> </ul>		 <p>手賀沼。都心から最も近い天然湖沼。 手賀沼が織りなす自然風景は、清らかで美しく、季節折々に表情豊か魅せる。 かつて文人たちをも魅了した「手賀沼時間」は、成熟した現代においてはさらに深まり、ユニークな魅力を有した空気を醸し出している。 柏から味わう手賀沼は、手ごろだが、実は奥が深い。だからきっと、抜け出せない。 それが、柏のTEGA。</p>
KPI	<p>①地域における観光消費額【道の駅しょうなん売上額】 （+1億円）</p> <p>②観光施設の入込客数（+146,500人）</p> <p>③各拠点にて実施したコンテンツの利用者数 （+2,400人）</p> <p>④手賀沼西側地域観光イベントの利用者数（+12,000人）</p>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.city.kashiwa.lg.jp/keiei/shiseijoho/keikaku/sonota/6874.html">https://www.city.kashiwa.lg.jp/keiei/shiseijoho/keikaku/sonota/6874.html</a></p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【あけぼの山周辺地域振興事業】

申請者	千葉県柏市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	3,131,300千円 (4,400千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	✓	事業分野 地方経済の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市における10年後の人口減少を見据え、「あけぼの山公園」、「柏市あけぼの山農業公園」を滞在型観光拠点として再構築し、公園機能の強化や民間投資の誘導を通じて、地域経済の核へ発展させる。</li> <li>・さらに関係人口の創出と交通利便性の向上により、都市住民の余暇消費を支える場として、ウェルビーイングと持続可能な地域成長の実現に寄与する。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】</p> <p>①公園認知度向上と広域誘客を目的にプロモーション強化、②公園の魅力向上と長時間滞在の促進を目的に公園リニューアル、③収益性と独自性のあるサービス創出を目的に民間誘致による事業展開、④持続可能な公園運営を目的に共創プラットフォームの構築、担い手の育成、⑤交通インフラ整備による来園環境の改善を目的にアクセス道路・駐車場整備を実施する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>都市圏・インバウンド観光客への訴求力向上を目的としたプロモーション強化や花や植物販売などのテストマーケティングを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロモーション強化 2,650千円</li> <li>・テストマーケティング 1,750千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者、地元農家の組合、柏市、大学、地元協議会、公園サポーターなど、多様な主体による共創プラットフォームを構築し、本公園の魅力向上や自立した運営を目指していく。</li> <li>・持続的な公園運営の観点から、公園のファンによる樹木や植物・花のサポーターや農体験の担い手を育成し、多世代・他地域・多様な人材による参加型の運営基盤を創出する。</li> </ul>					<p><b>KPI</b></p> <p>(★は必須KPI)</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★①当地域における観光消費額 (+5,060万円)</li> <li>②公園の年間来園者数 (+17万人)</li> <li>③閑散期における来園者数 (+8.5万人)</li> <li>④春の時期における住宅地の渋滞長の減少延長 (0.5km)</li> <li>⑤市外の人に柏市を自慢できる市民の割合 (+1.5%)</li> </ul>


# 事業概要【暮らしを支える地域モビリティ・ミックス推進事業】

旧制度（推進）

申請者	千葉県勝浦市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	54,527千円 (23,999千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通空白地の解消</li> <li>・夜間の移動手段の確保による地域住民の安全確保及び観光振興</li> <li>・運行管理におけるデジタル技術の導入による利便性向上</li> <li>・モビリティ・マネジメントの推進による公共交通の利用促進</li> </ul>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】 単に既存の公共交通の存続ではなく、新たな形の公共交通の導入のほか、デジタル技術の活用などにより、より効率的で利便性の高い公共交通網の形成を目指すとともに、公共交通における課題を地域全体で認識し、課題解決に向けた取組を行う。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通不便地域の解消に向けた新たな公共交通の運行（委託料）7,990千円</li> <li>・夜間における移動手段の確保（委託料）3,520千円</li> <li>・デマンドタクシーにおける運行管理システムの導入（委託料）9,673千円</li> <li>・地域公共交通活性化協議会の運営支援及び地域公共交通計画の進捗評価・見直し（委託料）1,353千円</li> <li>・公共交通を利用したお出かけツアーの実施（委託料）759千円</li> <li>・モビリティ・マネジメントに関するセミナーの実施（委託料）704千円</li> </ul>		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①地域の人口・世帯数（▲1,164人）</li> <li>②人口における社会増減数（+80人）</li> <li>③市内路線バス利用者数+デマンドタクシー利用者数+新たに導入された公共交通の利用者数（+3,100人）</li> <li>④旅行消費単価（+600円）</li> </ol>	<p>関連URL</p>	<p>調整中</p>

# 事業概要【「創業するならいちはらで」実現プロジェクト】

旧制度（推進）


申請者	千葉県市原市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	123,355千円（51,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>今後本格化する五井駅周辺の拠点形成の取組と一体となりながら、未来に挑戦する若者・女性が積極的に起業・創業にチャレンジできるまち「創業するならいちはらで」の実現を目指す。また、市内事業者の様々な活動を伴走型で支援することにより地域経済の活性化を目指すとともに、若者・女性をメインターゲットに据えた人材育成、雇用機会の創出により、「ひと」と「しごと」の好循環による「働きたくなるまち」の実現を目指す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門的な知識、経験を有するコーディネーター、専門家を配置した相談窓口の設置により、若者・女性をメインターゲットに据えた起業・創業支援やスタートアップ・中小企業を対象とした伴走型支援、ビジネスコミュニティの形成支援を実施する。</li> <li>あわせて、ICTに関する講習会・セミナーや技術承継講座、市内の小中高生を対象とした工場見学やインターンシップ等を実施する。</li> </ul> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門家窓口、セミナー交流会の開催等 委託料等：34,000千円</li> <li>若者・女性をメインターゲットとした講習会、セミナーの開催 委託料等：10,000千円</li> <li>高校生に工場見学、職場体験、インターンシップ等を実施 委託料等：7,000千円</li> </ul>		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①コーディネーター・専門家の支援等により市内で起業した事業者数（+15件）</li> <li>②コーディネーター・専門家による支援件数（+300件）</li> <li>③デジタル人材育成に関するセミナー等への参加者数（+35人）</li> <li>④ビジネスコミュニティ形成に係る交流会・セミナーなどへの参加者数（+130人）</li> </ol>	<p>関連URL</p>	<p><a href="https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=602372ffece4651c88c18117">https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=602372ffece4651c88c18117</a></p>

# 事業概要【チバニアン整備事業】

旧制度（拠点）


申請者	千葉県市原市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,557,595千円 (342,805千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	観光分野
目的・効果	チバニアンのガイダンス施設を整備することにより、チバニアンの価値や魅力を活かし、本市の新たな観光資源のひとつとする。併せて、チバニアン周辺の市南部地域に点在する「高滝湖」「養老溪谷」「小湊鉄道」「ゴルフ場」といった魅力的な観光資源との連携強化により相乗効果を図り、本市の目標である交流人口500万人を目指す。		
整備内容・利活用方策 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【整備内容・利活用方策】 地層を一見しただけでは分かりづらいチバニアンの価値や魅力を、分かりやすく伝えるため、現地に新たにガイダンス施設を整備し、本市の新たな観光資源として多くの人々が集う交流・賑わいの場とする。 さらに、チバニアン周辺の市南部地域に点在する「高滝湖」「養老溪谷」「小湊鉄道」「ゴルフ場」といった魅力的な観光資源との連携強化により相乗効果を図り、これら観光資源間の回遊性を向上させる仕組みを構築する。</p> <p>【工事監理費】 17,435千円 【建築工事費】 303,208千円 【建築物と不可分な設備工事】 ・電気設備工事 2,482千円 ・機械設備 19,680千円</p>		<p>【ガイダンス施設イメージパース】</p> 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域の観光消費額（+3億500万円） ②市内観光入込客数（+150万人） ③チバニアン年間来場者数（+2万7,000人） ④本市リピーター率（+5%）</p>		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制） <a href="https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=602372ffece4651c88c18117">https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=602372ffece4651c88c18117</a></p>

# 事業概要【産業創造拠点整備事業】

申請者	千葉県市原市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	932,279千円 (131,142千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	2023年度から取り組んできた「創業するならいちばらで」実現プロジェクトの「ひと」と「しごと」の好循環に、「まち」の要素を大幅に強化し、本市の中心都市拠点に所在する五井駅と直結したサンプラザ市原を産業創造拠点として整備し、「ひとづくり・しごとづくり・まちづくり」に資する新たな機能を創出することで、「働きたくなるまち」実現の加速化を目指す。						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>施設の魅力や利便性の向上のための改修工事を実施し、各種相談対応やセミナー・交流会の開催といった既存の産業振興機能に加え、シェアオフィスやコワーキングブースの設置、ビジネスコミュニティの創出、定期的なイベントの開催、カフェの運営といった新たな機能を展開することで、施設全体の利用促進を図る。</p> <p>&lt;リノベーション概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 2F、6F、7F、8F、11F、12Fのレイアウト変更に伴う内装工事</li> <li>➢ 施設機能保全工事（雨漏り防止のための外壁・防水改修等）</li> <li>➢ 空調設備等改修工事（既存設備の機能改善等）</li> </ul> <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築工事費：341,598千円</li> <li>・電気設備工事費：43,384千円</li> <li>・機械設備工事費：168,779千円</li> <li>・工事監理委託費：9,929千円</li> </ul>					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>産業創造拠点の産業振興機能の大幅強化</b></p> <p><b>「ひとの活力」を高める拠点</b> 臨海部のものづくり産業に必要な人材や、地域産業に新たなビジネスを生み出す人材、DX時代の到来を捉えた自己発信力豊かな人材が育ち、市内各地で活躍する拠点</p> <p><b>「しごとの底力」を高める拠点</b> 臨海部企業の発展を下支えし、地域産業や起業・創業のチャレンジを後押しするとともに、臨海部企業・地域産業・公共の連携によるイノベーションの創出・新産業創造を促す拠点</p> <p><b>「まちの魅力」を高める拠点</b> 立場を超えて様々なひとが寄り集まり、交流の中から絶えず地域に新たな産業や魅力が生み出され、賑わいを創出する拠点</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>健康増進・文化向上機能の訴求力向上</b></p> <p style="text-align: center;">施設全体の利用促進、賑わいの創出</p> </div> 	
	地域の多様な 主体の参画	<p>本整備において必要な機能、意匠、ソフト展開等の検討を行うにあたり、商工会議所、地元事業者、女性起業家、大学教授等のメンバーで構成される「産業創造拠点デザイン会議」を開催し、そこで出された意見等を集約し実施設計に反映させた。</p> <p>整備後についても若者・女性を中心とした想定利用者に対して定期的なニーズ調査を行い、イベントやセミナー等のソフト展開に反映させていく。</p>					KPI


# 事業概要【流山ディステーションプロジェクト「住宅都市」を「訪れたくなるまち」へ】

旧制度（推進）

申請者	千葉県流山市	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	206,995千円 (29,400千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源である白みりんを中核としたコンテンツ及び観光地域づくり</li> <li>・流山版DMOの育成による観光地域づくりの促進</li> <li>・白みりんに関する拠点を整備することにより、交流人口の増加と地域経済の活性化を目指す</li> <li>・シビックプライドの醸成により、定住人口の定着に寄与する</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費  <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】                      地域資源である白みりんを活用したブランディングを最重要課題とし、白みりんや古民家を活用したツーリズムを実施する。</p> <p>【主な経費】                      流山版DMO運営支援として、市がDMOに交付する補助金（5年目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DMOの人件費 10,000千円</li> <li>・電動キックボードの運用に向けた運営補助（人件費）1,200千円</li> <li>・古民家マッチングサイトの運営費 1,200千円</li> </ul> <p>白みりんによるブランディング事業（5年目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流山本町及び白みりんミュージアムのプロモーション（業務委託）17,000千円</li> </ul>			
KPI  <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 流山本町地域への来訪者数 (+1,650人)</li> <li>② 開発した新商品の売り上げ (+580千円)</li> <li>③ 構築した白みりん検定の受験者数(+15,350人)</li> <li>④ 白みりんのまちとしての認知度（市外住民） (+71%)</li> </ol>		関連URL  <a href="https://shiro-mirin.com/museum/">https://shiro-mirin.com/museum/</a> <a href="https://ntd-event.com/about/">https://ntd-event.com/about/</a>	

# 事業概要【我孫子市自転車観光推進事業】

旧制度（推進）

申請者	千葉県我孫子市	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	19,265千円 (5,158千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我孫子市の観光資産を巡る自転車観光コンテンツの造成</li> <li>・24時間365日借りられる観光スマートサイクルの導入</li> <li>・自転車を切り口に個別性の高い多様な観光資産を一括して振興</li> <li>・第1次産業・第2次産業・第3次産業の一括振興と地域経済循環の改善をはかる</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 自転車を切り口に多様な観光資産を一括振興する。オンラインマーケティングで広域から観光誘客をし、併せてスマートサイクル（自動貸出）を導入し訪問の敷居を下げる。デジタルの力で観光入込客を増加させ、地域経済循環を改善し、住民の日常生活環境の維持向上と経済・文化・環境の統合的向上を図る。</p> <p>【主な経費】 我孫子市の観光資産を巡る自転車観光コンテンツの造成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ポータルサイトホスティング費（委託料） 10千円</li> <li>観光スマートサイクルの導入及び運営</li> <li>・運営費（委託料） 4,029千円</li> <li>・管理費（委託料） 917千円</li> <li>・携帯電話回線使用料（使用料） 36千円</li> <li>・管理用スマートフォン購入（備品購入費） 166千円</li> </ul>		 <p>自然と文化と食に恵まれた地域 多様な観光資産を一括振興 →地域経済循環の改善へ</p>	
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における観光消費額（+1億3,525万円）</li> <li>②ポータルサイトの訪問者数（+201,582人）</li> <li>③ポータルサイトの新規訪問者数（+98,676人）</li> <li>④スマートサイクルの貸出回数（+11,777回）</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://visit.city.abiko.chiba.jp/">https://visit.city.abiko.chiba.jp/</a> (効果検証) 調整中</p>	

※経費内訳はR7年度事業費


※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【五本松運動広場整備事業】

申請者	千葉県我孫子市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,244,509千円 (472,082千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>五本松運動広場の整備・改修を行い、市内外から多くの人々が集まるスポーツ・観光拠点とする。また、プロスポーツチーム等と連携した事業を展開することで地域一帯の魅力向上を図る。</li> <li>市内外利用のあるキャンプ場との一体運営により、市外からの観光客を地域に呼び込み交流人口の拡大を図る。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 五本松運動広場の整備・改修 (人工芝サッカー場整備、陸上競技用トラック整備、クラブハウス整備、屋根付きスタンド整備、芝生広場整備、駐車場整備、夜間照明整備)</p> <p>【拠点整備事業経費】：472,082千円 以下経費内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 建築物整備 107,198千円 (建築設計費 2,251千円、建築工事監理費 1,195千円、建築工事費 103,752千円)</li> <li>● 設備整備・用地造成等 364,884千円 (土木設計費5,800千円、土木工事監理費 1,650千円、土木工事費 320,989千円、撤去、移設、解体費 5,729千円、敷地造成、植栽 30,716千円)</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>NECグリーンロケッツ東葛など地域のプロスポーツチームをはじめ、施設整備後の管理・運営を予定している指定管理者や地元の高校・大学等と連携したイベント開催等を通じて、地域の活性化、交流人口の拡大を図る。また、スポーツ協会、スポーツ少年団等と連携した事業を展開することで、施設の稼働率を高めるとともに、各組織の活性化に取り組む。</p>					KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の交流人口<small>(市外利用人数)</small> (+25,049人)</li> <li>②五本松運動広場利用人数 (+93,215人)</li> <li>③ふれあいキャンプ場利用人数 (+3,975人)</li> <li>④スポーツ団体の会員数 (+550人)</li> <li>⑤運動を週2日以上行っている市民の割合 (+2.1%)</li> </ul>

# 事業概要【新たな地域拠点を核としたきみつ魅力アップ・にぎわい創出プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	千葉県君津市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	26,923千円 (8,395千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能なまちづくりのモデルケースとして、空き校舎を活用した新たな地域拠点を核とする「人がつどい、にぎわいが生まれる」事業を展開し、各地区への横展開を図ることで“つながりの連鎖”による更なるまちの活性化を目指す</li> <li>・地域資源を活かした取組により、多拠点居住の促進や関係人口の創出を図る</li> <li>・多様な働き方や起業につながる取組により、生産年齢人口の流出を抑制する</li> <li>・外部人材の導入や組織育成支援により、地域コミュニティの担い手と継続性を確保する</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 地域拠点施設を中心に、地域資源を活用した取組や魅力発信等の事業を展開し、多拠点居住の促進や関係人口の創出を図る。また、ワークスペース拠点の充実やデジタル工作機材の利用促進により、地域での新しい働き方を支援する。さらに、地域づくりのためのプロジェクト支援体制を構築し、住民主体の地方創生を推進する。</p> <p>【主な経費】 多拠点居住促進・関係人口創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源活用による事業や活動を創出する取組等（委託費）1,400千円</li> <li>・サイクリスト立ち寄り拠点強化事業（委託費）390千円</li> <li>・空き家活用、魅力満喫アクティビティ開発等（補助金）1,000千円</li> </ul> <p>「地域で稼ぐ・働く」の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コワーキングスペースの機器リース等 448千円</li> <li>・デジタル工作機材ワークショップ等（委託費等）407千円</li> <li>・安心して働ける地域づくり（補助金）500千円</li> </ul> <p>プロジェクト推進と担い手育成体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援マネージャー招聘（委託費）1,400千円</li> <li>・担い手組織育成の横展開（補助金・事業費）2,850千円</li> </ul>		 <p>地域資源を活かした事業や活動を創出するセミナー「実感の循環学校」の様子</p>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 本事業における関係人口創出を目的としたイベントなどへの市外からの参加者数(+200人)</li> <li>② 本事業に関連して創業に至った地域ビジネスなどの数(+5件)</li> <li>③ コワーキングスペースの利用者数(+360人)</li> <li>④ 地域組織の運営に関わる人数(会員・協力者など)(+42人)</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)  <a href="https://www.city.kimitsu.lg.jp/soshiki/117/64232.html">https://www.city.kimitsu.lg.jp/soshiki/117/64232.html</a>          (効果検証)          同上</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【デジタルを活用した地域活性化プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	千葉県南房総市、館山市	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	117,597千円 (39,199千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルを活用し大学と連携しながら、効果的な施策展開、事業見直しを実施する。</li> <li>・民間事業者に本市での賃貸住宅事業への参入を促すとともに、入居から市内定住への流れを作る。</li> <li>・市内のデジタル化を図るため、伴走支援セミナー等を開催する。</li> <li>・大学と連携し、高齢者のデジタル社会への対応を支援するため、デジタル活用セミナーを開催する。</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>大学と連携し、より高度な分析結果の算出、施策展開を整備し、企業・市民をターゲットにデジタル化の伴走支援の実施や市内事業者を対象にデジタル化導入、市内進出する事業者・起業家に対して、事業拡大や起業に関する経費に補助する。また高齢者を対象としたデジタル活用セミナーを実施しデジタル社会において必要なスキルを普及・指導するための人的資源を確保する。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要因分析経費（委託料）：1,000千円</li> <li>・市内事業者デジタル化セミナー等開催（委託）：8,800千円</li> <li>・デジタル人材スキルアップセミナー等開催（委託）：3,500千円</li> <li>・企業のデジタル化機材等導入に対する補助金：10,000千円</li> <li>・事業拡大、起業のための機材導入に対する補助金：15,000千円</li> <li>・調査研究業務及びセミナー業務委託（委託）：899千円</li> </ul>		<p>包括連携協定を結んだ大学と連携しながら高齢者のデジタルニーズを調査し、ニーズに沿った支援セミナーを開催。</p> <p>適地を分析し賃貸物件の建築を促し、子育て世代の移住の受け皿を作る。</p> <p>デジタルを活用し、大学と連携したデータ分析による事業改善や的確な施策展開</p> <p>セミナーの開催により企業のデジタル化、デジタル在宅ワークスキル取得を支援</p>	
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域へのU I Jターン数（+9人）</li> <li>②デジタル導入企業数（+48社）</li> <li>③デジタル人材スキルアップセミナー参加者における就労者数（+63人）</li> <li>④65歳以上の総合健診申込における、インターネット予約の割合（+4.50%）</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000021196.html">https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000021196.html</a></p>	

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【佐原広域交流拠点再整備事業】

申請者	千葉県香取市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	323,125千円 (323,125千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>本市のゲートウェイである佐原広域交流拠点水の郷さわらをリニューアルし、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光の起点として回遊性を向上させ、市内観光入込客数の増加を図る。</li> <li>出荷者の経営安定を図るため、水の郷さわらが培ってきた販路・ブランディングを活用し来場者を増加させ、売上向上を目指す。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 観光情報等多様な情報を適時配信するためデジタルサイネージを設置するほか、大屋根の新設、駐車場の拡張・整備をすることで施設の更なる魅力アップを図る。また、観光・農業振興の両面において機能させるため物販・飲食施設改修を実施する。</p> <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○物販・飲食施設改修、大屋根設置：207,816千円 道の駅物販施設の移設拡張 飲食施設を移設改修し眺望レストランとして整備 天候に左右されないイベント用の大屋根を設置</li> <li>○設備整備：114,889千円 駐車場増設・整備、複合遊具設置 デジタルサイネージ・AIカメラ（駐車場混雑度判定システム）</li> <li>○リニューアル記念式典イベント：420千円 リニューアル後の集客効果を高めるためイベントを開催</li> </ul>					       	
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>佐原商工会議所や観光協会などの関係団体と連携しながら地域合意を図るとともに、道の駅の指定管理者が開催する感謝祭等のイベントにより、利用者の増加や市民との関係構築につなげる。</p> <p>出荷者協議会などで構成する販売促進協議会を立ち上げ、農業生産品のブランドアップと6次産業化を推進する。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市内観光入込客数（+12.5万人）</li> <li>②物販施設の売上（+1億1,220万円）</li> <li>③年間来場者数（+5.75万人）</li> <li>④農業産出額（+2.50億円）</li> </ul>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【栄町ドラムの里拠点整備事業】

申請者	千葉県栄町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	437,724千円 (23,870千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>岐路に立つ栄町の農業を盛り上げていくため、新しい価値観やライフスタイルを体現する場所としてドラムの里を再整備し、「農」を通じた地域活性化の拠点として栄町の農業の再生と地域経済の活性化を目指す。栄町には、水田や里山など田園風景が残されており、人口10万人を超える成田市や印西市に隣接した地理的優位性を活かし、都会では味わえない鮮度の高い農産物や他にはないユニークな加工品の販売に取組み、さらに遊休農地を活用した野菜作りや収穫体験など様々な商品やサービス（体験等）を提供していくことで、地域のファンを獲得し、関係人口や交流人口を増やし、地域内外の人々がこの町を支える仕組みづくりを目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 「農」を通じた地域活性化の拠点として再整備に取り組む。地域の農産物や開発した商品、サプライチェーンの再構築による取扱品目の増加に対応する売り場面積の確保やバックヤード機能の向上など、地元生産者の意見を取り入れた整備を行い売り上げ向上を目指す。また、集客につながるレストランやイベントスペース、駐車場の拡張整備等に取り組む。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○実施設計 23,870千円（R7事業）</p>					 <p>千葉県印旛郡栄町 ドラムの里拠点整備事業</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>地域の農業者や商工会関係者、観光物産協会、公益財団法人、県や町などで構成する協議会有り、ドラムの里が地域の農業と商業を中心とした産業の活性化を推進する施設となるよう連携を図る。 また、ドラムの里が集客力を高めていけるよう、独自の商品やサービスの開発に取り組んでいく。</p>					KPI	<p>①ドラムの里の売上額（年間）（+600万円） ②ドラムの里物販施設における登録農家件数（+140件） ③栄町の特産農産物出荷額（+125トン） ④栄町の特産農産物（栽培）面積（+30ヘクタール）</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

※経費内訳はR7年度事業費

# 事業概要【千葉県一小さい町の「発酵×オーガニック」によるまちづくりプロジェクト】

申請者	千葉県神崎町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	64,300千円 (11,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	「発酵×オーガニック」の独自コンセプトを構築し、ブランディング戦略を策定するとともに、道の駅の既存商品の磨き上げや売場づくり、販路拡大をすることで、神崎町の認知度・知名度を向上させ、観光客の滞在時間や観光消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 「発酵×オーガニック」のブランドコンセプト、短・中・長期を含めた戦略、ロードマップを策定して地域ブランディングの方針を固める。 策定した戦略に基づき、看板商品の開発や積極的な情報発信を進める。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○ブランドコンセプト、短・中・長期を含めた戦略、ロードマップ策定・調査・戦略策定（委託料）5,500千円 ○神崎町まちづくり推進組織の運営事業 ・調査に基づく協議会発足の運営支援（委託料）2,200千円 ○既存商品の磨き上げ事業 ・町政70周年記念事業と連携した既存の地域特産品の磨き上げや道の駅などの売り場づくり（委託）3,300千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	策定した戦略を実行する組織として（仮称）神崎町まちづくり機構を設立し、道の駅「発酵の里こうざき」や地元農家の代表者などに委員として参加してもらい、商品開発やイベント実施の協力、特産品に使用するオーガニック農産品の提供をしよう。					KPI	<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「道の駅発酵の里こうざき」の売上高（+5億100万円）</li> <li>②「道の駅発酵の里こうざき」の年間来場者数（+45万人）</li> <li>③（仮称）神崎町まちづくり機構の売上高（+1千万円）</li> <li>④発酵体験講座の受講者数（+800人）</li> <li>⑤オーガニック栽培取り組み面積（+15,000㎡）</li> </ol>

# 事業概要【多古町デジタル農家エコシステム推進事業】

旧制度（推進）

申請者	千葉県多古町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	196,334千円（70,300千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>アグリテック企業との連携により農業事業者の抱える地域課題を解決することによる農業の生産性向上及び、成田空港の更なる機能強化や圏央道の開通による外部変化を捉えた農産品の海外輸出を行うことにより農家の所得向上等を図り、農業の魅力を向上させ、将来の担い手が意欲的に農業に取り組める環境を創り上げることを目指す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】</p> <p>①アグリテックを活用した農業課題解決実証事業 町が実証フィールドを提供しアグリテック企業誘致のきっかけを作ることに加え、農業事業者とアグリテック企業が協力して農業における課題を解決するための実証実験を支援する。</p> <p>②農業の課題解決に向けた学生チャレンジ パートナー企業と学生が連携しながら課題解決・共同研究に取り組むことにより、農業に対する愛着心を高め農業に取り組むきっかけを作ることに加え、アグリテック企業を誘致するきっかけを創出する。</p> <p>③デジタル農家がつくる農畜産物の輸出強化事業 市場調査及び海外のインポーターとのパイプライン構築により商品開発等の知見を習得し、輸出を強化する。</p> <p>④多古町地域資源デジタルコンテンツ造成事業 若年層をはじめとした町民が農業への興味を持つことを目的に、デジタル企業の技術を取り入れながら、町の地域資源（養豚場、農園、栗山川、等）を活用したデジタルコンテンツの造成を行う。</p> <p>【主な経費】</p> <p>①アグリテックを活用した農業課題解決実証事業 20,800千円 伴走支援費用 12,000千円等</p> <p>②農業の課題解決に向けた学生チャレンジ 11,000千円 伴走支援費用 8,800千円等</p> <p>③デジタル農家がつくる農畜産物の輸出強化事業 27,500千円 商品開発支援費用 16,500千円等</p> <p>④多古町地域資源デジタルコンテンツ造成事業 11,000千円 コンテンツ造成費用 8,800千円等</p>		 <p>女性農業者によるドローンの活用</p>
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①アグリテック企業と協業する町内農業事業者の人数（+9人）</p> <p>②農業の課題解決に向けた学生チャレンジの参加人数（+30人）</p> <p>③海外輸出を行う販路数（+1社）</p> <p>④デジタルコンテンツの造成数（+3件）</p>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.town.tako.chiba.jp/docs/2018012600079/">https://www.town.tako.chiba.jp/docs/2018012600079/</a></p>

# 事業概要【白子町まちづくりDMOを中心とした観光と暮らしをつなぐ未来共創事業】

申請者	千葉県白子町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	27,848千円 (7,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	令和7年1月に候補DMO申請済みの観光地域づくり法人の登録DMO化を目指し、白子町の観光業の再構築と産業の高付加価値化を推進する。観光を軸に各分野を横断的に連携し、関係人口・交流人口・移住人口の増加を促進することで、持続可能な地域活性化を実現する。						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 観光再構築と産業連携をDMOが主導し、交流・関係人口の拡大と定住促進を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】 観光業の再構築及び白子町産業の高付加価値化委託料 3,000千円 観光のリブランディングと町民のシビックプライドの醸成委託料 1,000千円 登録DMOに向けた取組および中核となる人材育成委託料 3,000千円</p>					 	
地域の多様な 主体の参画	観光を通じた地域活性化を目指し、行政、民間事業者、金融機関、交通・文化団体、住民がそれぞれの立場から連携し、観光施策を展開している。DMOを中心に、観光資源の活用、新たなコンテンツの開発、受入環境の整備を進めるとともに、地域全体での協議体制を構築し、効果的な観光振興に取り組む。					KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客総人数（延べ）（+13万3,340人） ②地域観光消費額（+20億円） ③開発した観光コンテンツ数（+4個） ④転入超過数（+26人）

